

Q 大崎市及び石巻市への日本語学校の整備について、現在の取組状況はどうか。

A 公的関与による日本語学校の開設により、留学生と地域住民の交流機会が創出されるほか、「みやぎファン」による魅力の発信、卒業後の地域産業の担い手としての活躍など、様々な効果が期待される。

このため、県では将来的に複数地域での学校開設を視野に入れつつ、モデルケースとなる学校の開設に向け、大崎市及び石巻市と協議を進めている。このうち大崎市においては、日本語学校や寮を核とした多文化共生のまちづくりを基本コンセプトとし、令和7年4月の開校に向け開設予定地を決定するなど、着実に準備を進めていただいている。

一方、石巻市においても、市長自ら北海道東川町を視察し、学校及び寮の開設地選定のほか、運営方針などについても検討を進めており、可能な限り早期の開設を目指しているところと伺っている。

県としては、両市から特に留学生の募集や日本語教員の確保などについて、県の支援を求める声が寄せられていることから、今年度、開設準備手続きに精通した専門人材の配置や、相手国の教育機関等との関係構築を通じた留学生確保への支援等を行うこととしており、今後とも両市と緊密に連携し、開設に向けた準備を進めていく。

Q 石巻港整備について、大型客船寄港時の観光案内やイベントへの支援と取組の強化についてどうか。また、知事の来港により歓迎ムードを盛り上げてほしいがどうか。

A 仙台塩釜港においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、運航が停止されていた外国クルーズ船が、今年5月から順次再開され、今年度は国内クルーズ船も含め、12隻の寄港が予定されており、低迷した交流人口の回復・拡大や、観光振興に向けて力強い後押しになるものと大いに期待している。このうち、石巻港区においては、日本に寄港するクルーズ船としては最大級となる「MSCベリッシマ」が、8月に初めて寄港するなど、延べ5隻の寄港を予定しており、現在、「石巻港大型客船誘致協議会」等と連携し、乗客の皆様にご満足いただけるよう、受入れに向けた準備を進めている。

県ではこれまでも、Wi-Fi設備や多言語観光案内板の設置など、受入体制の強化を図ってきたところであり、更なるクルーズ船の寄港に向けて、引き続き東北経済連合会や関係市町等と緊密に連携を図りながら、クルーズ船社や旅行会社に対し、我が県ならではのオプションツアーや歓迎イベントを提案するなど、積極的なポートセールスに取り組んでいく。

なお、歓迎式典への出席については、公務のスケジュールも確認しながら検討していく。

Q 更なる港湾機能の強化のため、必要な予算の確保や調査・検討を踏まえた港湾計画の見直し、インバウンド誘致など、今後を見据えた支援体制についてはどうか。

A 石巻圏域をはじめ、我が県の経済・差産業を支える重要な港湾である仙台塩釜港石巻港区については、今年度から国において、新たな水深12メートル岸壁の整備や、航路・泊地の浚渫に着手したほか、県では廃棄物物理立護岸の整備を計画的に進めている。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うサプライチェーンの変化や、カーボンニュートラルの実現に向けた対応、働き方改革に起因したモーダルシフトの進展、クルーズ船誘致によるインバウンドへの対応など、港湾を取り巻く環境が大きく変化していることから、これらの変化に柔軟かつ的確に対応していく必要があると認識している。

このため県では、港湾計画の改訂に向け、「明日の仙台塩釜港を考える懇談会」や「カーボンニュートラルポート協議会」を昨年度に立ち上げ、石巻港区を含む仙台塩釜港全体における今後の整備のあり方などについて、今年度中にとりまとめる予定としている。県としては、これらの懇談会等の枠組みを引き続き活用し、より一層、港湾の利活用を図りながら、更なる港湾機能の強化に取り組んでいく。

活動アルバム



雄勝地区熊沢漁港整備について、齋藤市長はじめ石巻市関係者、地元関係者とともに現地調査及び要請
(来年度より一部着手する事が決定)



建設企業委員会
石巻港調査に参加

①県議会9月定例会は9月5日開会予定

②県議会議員選挙の日程が決定

令和5年10月13日告示 同年10月22日投票

③議員定数の変更 石巻・牡鹿選挙区 5→4 富谷・黒川選挙区 2→3

気仙沼・本吉選挙区 3→2 宮城選挙区 1→2 に変更

県議会からの
お知らせ

●ご意見・ご感想・ご要望等がございましたら
下記までご連絡下さい。
(議会傍聴をご希望の方も是非ご連絡下さい。)

事務所 〒986-0832 石巻市泉町2丁目6-32
TEL (0225) 23-9518
FAX (0225) 23-9519

宮城県議会議員

坂下 賢

《所属》

文教警察常任委員会委員
人口減少・人材育成調査特別委員会委員

(e-mail) kenken@siren.ocn.ne.jp

<http://www.sakashita-ken.com>